

- 台風21号洪水により、大和川では亀の瀬上流の26.8k右岸(三郷町)等において溢水が発生。
- その他区間においても計画高水位を超過したものの、堤防破堤は免れた。
- 大和川では戦後最大洪水(昭和57年)と同規模と推測。

○昭和57年8月洪水

【降雨規模】柏原地点上流146mm/12h

【浸水被害】

- ・大阪府域：西除川、今井戸川において溢水
浸水戸数 約11,000戸
- ・奈良県域：初瀬川左岸破堤、佐保川、葛下川で溢水
浸水戸数 約10,500戸



○平成29年台風21号洪水

【降雨規模】柏原地点上流155mm/12h

【浸水被害】

- ・大阪府域：柏原市において溢水
浸水家屋は無し ※詳細は調査中
- ・奈良県域：三郷町、王寺町において溢水
浸水戸数 約250戸 ※詳細は調査中



◀ 葛下川から溢水し、王寺町中心部が浸水



三郷町溢水

王寺町溢水



▲ 初瀬川の破堤



王寺町役場付近において甚大な被害が発生

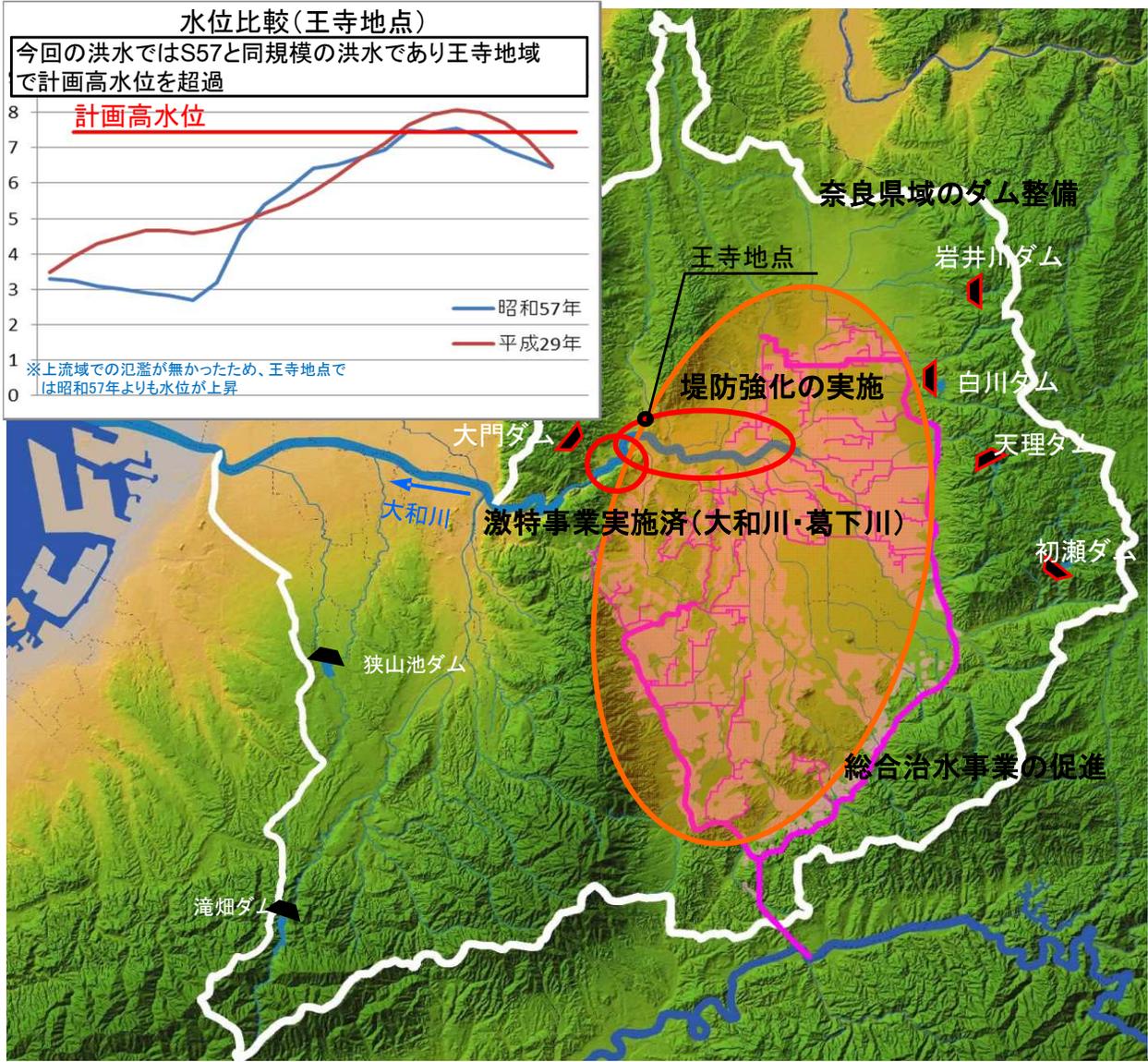


10月23日9:00撮影

◀ 保田地区でも堤防高まであと50cm程度のところまで水位が上昇

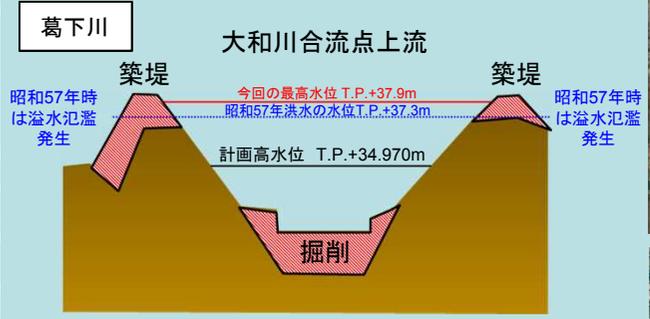
○大和川では戦後最大洪水(昭和57年)により流域全体で甚大な被害が発生したが、これまでの河川整備(河川激甚災害対策特別緊急事業やダム整備等)により、昭和57年に甚大な被害が発生した王寺駅周辺においては、葛下川等の水位を低減し、氾濫を防いだ。

○奈良県域におけるこれまでの治水対策と効果



①河川激甚災害対策特別緊急事業(S57~61)

- ・大和川本川: 葛下川との合流点下流部の河道掘削
- ・葛下川: 河道掘削、築堤、橋梁架替



※昭和57年洪水と同規模の洪水のため、激特事業において実施した掘削及び築堤工事により氾濫すること無く、川の中で流下することができた。

②ダム整備(奈良県)

- ・4つのダムを整備(岩井川ダム、白川ダム、天理ダム、初瀬ダム)

③総合治水事業

- ・総合治水事業を推進(ため池治水利用、雨水貯留浸透施設等)

④堤防強化

- ・堤防の浸透・侵食対策を推進(亀の瀬付近~直轄上流端)

これらの結果、今回出水で**計画高水位を超過するものの、破堤せず、ギリギリのところ**で洪水を流下することができた。

○引き続き、奈良県域のさらなる治水安全度向上にむけ、**戦後最大規模の洪水を計画高水位以下で安全に流下させる**大和川遊水地の整備や河道掘削を推進する。

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。